

気仙沼市教育委員会

気仙沼市義務教育環境整備計画に係る 条南中学校区 地区懇談会

日時 令和5年3月7日（火）
午後6時30分から

会場 気仙沼中央公民館 ホール

なぜ統合が必要か

文部科学省の公立小・中学校の適正規模・適正配置等に関する考え

- 児童生徒が集団の中で、多様な考えに触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨することを通じて一人一人の資質や能力を伸ばしていくという学校の特質を踏まえ、小・中学校では一定の集団規模が確保されていることが望ましい。
- 教育を十全に行うためには、一定規模の児童生徒集団が確保されていることや、経験年数、専門性、男女比等についてバランスのとれた教職員集団が確保されていることが望ましい。そのようなことから、一定の学校規模を確保することが重要。
- 学校教育法施行規則では、小・中学校ともに「12学級以上18学級以下を標準とする。ただし、地域の実態その他により特別の事情のあるときは、このかぎりではない」とされている。
⇒条南中・気仙沼中の統合で12学級には達しないが、少しでも近づくことが必要

2 なぜ条南中と気仙沼中の統合が必要か

- (1) 教科担任制の中学校では、学校規模を主眼とした学校統合により、教科当たりの教員数が増加するとともに、**より多くの専門教員が配置**されることとなる

【令和4年度 教員配置】

	国語	社会	数学	理科	英語	音楽	美術	保体	技術	家庭
条南中	2	2	2	2	2	※1	※1	2	免外1	免外1
気仙沼中	2	※2	※2	3	2	1	1	1	非常勤1	非常勤1

- ※ 条南中の音楽と美術は、両方の免許を持つ1人の教員が授業を行っている
- ※ 気仙沼中の社会と数学は、両方の免許を持つ教員も授業を行っている
- ※ 条南中の「免外」とは、免許を持たないが特別な講習を受講し授業を行っている
- ※ 気仙沼中の「非常勤」とは、授業日のみ来校し授業を行う教員

- (2) 交友関係を広めたり、交友関係をリセットしたりするために広範に**クラス替え**ができる

2

- (3) **部活動選択の幅**が広がり、単独チームでの大会への出場が可能になる
教員数も増加することから、**現在より多くの種目が設置**される可能性がある

※ 令和4年度設置部活動

条南中： 野球・サッカー・テニス男女・バスケ女・バレー女・卓球男女
吹奏楽・文芸科学

気仙沼中： 野球・サッカー・テニス男女・バスケ男女・バレー女・卓球男女
吹奏楽・文芸科学

3

3 今回の統合を経たのちの見通し

(1) 本市における児童・生徒数の推移見通しから、現計画の先に、学校規模を主眼とした市全体に及ぶ学校統合方針を考える必要がある

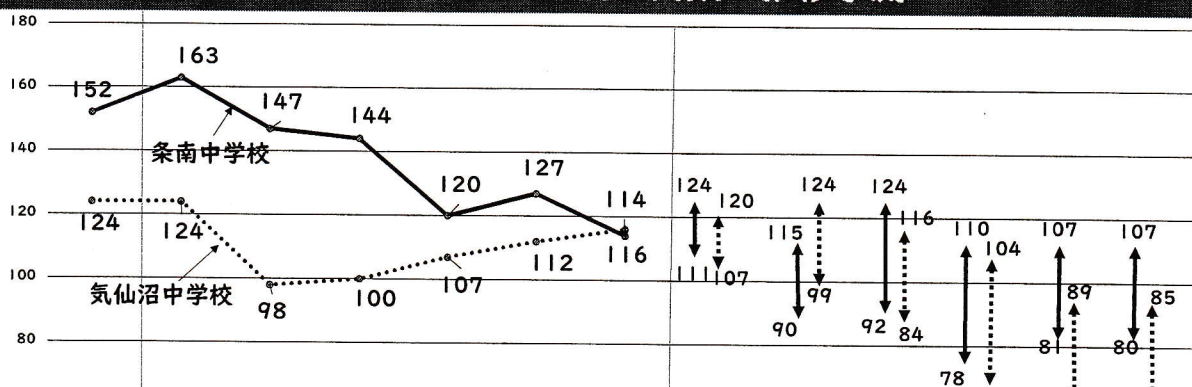
本市の児童・生徒数の見通し

0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳
						小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
219	215	262	285	294	362	312	393	372	358	368	422	395	439	440

令和4年4月28日現在住民登録数による

- (2) 中学校では学校規模を主眼とする大括り化等を検討しなければならない
- (3) 今後新計画を策定することとなるが、条南中学校と気仙沼中学校はあらゆる可能性（学校統合の組み合わせ、位置、津波浸水からの安全性、文教地区）を考えた時、気仙沼中学校が統合校になることが濃厚であることから、統合校は新計画の先駆けと位置づけ、適正規模実現のため、令和6年4月の統合実現に向け懇談を続けていく。

4 条南中学校・気仙沼中学校 全校生徒数 推移予測



※1 令和4年度は、4月1日現在の在籍者数。
 ※2 本郷・南郷地区は、小学校は気仙沼小学校、中学校は条南中学校が学区だが、指定校変更により各々九条小、気仙沼中に通学している児童生徒がいる。
 ※3 令和5～10年度は、本郷・南郷地区の児童が、九条小からは条南中学校へ、気仙沼小からは気仙沼中学校へ入学した場合の在籍者数（R4.4.28現在の住民登録数による）。本郷・南郷地区の児童については、気仙沼小に入学した児童は気仙沼中に、条南中に入学したい児童は九条小に入学する傾向にある。
 ※4 令和11年度以降は、本郷・南郷地区居住者が、条南中学校または気仙沼中学校への入学を片寄って選択した場合の最大の変動幅として示した在籍者数（R4.4.28現在の住民登録数による）。

令和4年度 令和5年度 令和6年度 令和7年度 令和8年度 令和9年度 令和10年度 令和11年度 令和12年度 令和13年度 令和14年度 令和15年度 令和16年度

(1) 条南中学校 生徒数・学級数 推移予測

※1 ← ※2 → ※3 →

			令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度	令和14年度	令和15年度	令和16年度
3年	生徒数	最大	51	53	48	62	37	45	38	44	32	48	35	41	34
		最小										35	23	34	21
	学級数		2	2	2	2	1	2	1	2	1	2~1	1	2~1	1
2年	生徒数	最大	53	48	62	37	45	38	44	32	48	35	41	34	32
		最小									35	23	34	21	26
	学級数		2	2	2	1	2	1	2	1	2~1	1	2~1	1	1
1年	生徒数	最大	48	62	37	45	38	44	32	48	35	41	34	32	41
		最小								35	23	34	21	26	33
	学級数		2	2	2	2	2	2	1	2~1	1	2~1	1	1	2~1
合計	生徒数	最大	152	163	147	144	120	127	114	124	115	124	110	107	107
		最小								111	90	92	78	81	80
	学級数		6	6	6	5	5	5	4	5~4	4~3	5~3	4~3	4~3	4~3

※1 令和4年度は、今年度の入学者実数
 ※2 令和5~10年度は、九条小学校児童が条南中学校へ入学した場合の入学予定者数。
 ※3 令和11年度以降は、本郷・南郷地区の児童が全員条南中へ入学した数が最大値、全員気仙沼中へ入学した数が最小値 (R4.4.28現在の住民登録数による)。

(2) 気仙沼中学校 生徒数・学級数 推移予測

※1 ← ※2 → ※3 →

			令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度	令和14年度	令和15年度	令和16年度
3年	生徒数	最大	32	61	31	32	35	33	39	40	37	43	44	29	31
		最小										30	32	22	18
	学級数		1	2	1	1	1	1	1	1	1	2~1	2~1	1	1
2年	生徒数	最大	61	31	32	35	33	39	40	37	43	44	29	31	29
		最小									30	32	22	18	23
	学級数		2	1	1	1	1	1	1	1	2~1	2~1	1	1	1
1年	生徒数	最大	31	32	35	33	39	40	37	43	44	29	31	29	25
		最小								30	32	22	18	23	17
	学級数		1	1	1	1	2	2	2	2~1	2~1	1	1	1	1
合計	生徒数	最大	124	124	98	100	107	112	116	120	124	116	104	89	85
		最小								107	99	84	72	63	58
	学級数		4	4	3	3	4	4	4	4~3	5~4	5~4	4~3	3	3

※1 令和4年度は、今年度の生徒実数。
 ※2 令和5~10年度は、気仙沼小児童が気仙沼中学校へ入学した場合の入学予定者数。
 ※3 令和11年度以降は、本郷・南郷地区の児童が全員気仙沼中へ入学した数が最大値、全員条南中へ入学した数が最小値 (R4.4.28現在の住民登録数による)。

(3) 条南中学校+気仙沼中学校 生徒数・学級数 推移予測

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度	令和14年度	令和15年度	令和16年度
3年	生徒数	83	114	79	94	72	78	77	84	69	78	67	63	52
	学級数	3	3	2	3	2	2	2	3	2	2	2	2	2
2年	生徒数	114	79	94	72	78	77	84	69	78	67	63	52	55
	学級数	3	2	3	2	2	2	3	2	2	2	2	2	2
1年	生徒数	79	94	72	78	77	84	69	78	67	63	52	55	58
	学級数	3	3	3	3	3	3	2	3	2	2	2	2	2
合計	生徒数	276	287	245	244	227	239	230	231	214	208	182	170	165
	学級数	9	8	8	8	7	7	7	8	6	6	6	6	6
1学級当たりの生徒数		30.7	35.9	30.6	30.5	32.4	34.1	32.9	28.9	35.7	34.7	30.3	28.3	27.5

○中学校1校当たりの学年ごと学級数(普通学級) 仙台市4.07 気仙沼市1.63

白石市2.08 角田市3.50 名取市4.67 岩沼市3.17 塩釜市2.67 多賀城市3.40
富谷市4.00 石巻市2.13 東松島市3.56 登米市2.07 大崎市3.00 栗原市2.48

8

5 なぜ気仙沼中学校に統合するのか

- ① 条南中は今回津波ハザードに入ったことにより、将来の建て替えの適地ではなく、次の統合においては、条南中が統合先となる可能性は基本的でない。
- ② 気仙沼中学校の位置は、気仙沼中学校区と条南中学校区を合わせた地域の中で、**ほぼ中央部に近い**
- ③ 将来的な生徒数推移見通し、学区内における学校の位置や状況、将来的な市内全域の中学校の配置等、総合的に検討した結果
- ④ 現気仙沼中学校の**周辺の施設を、教育活動に利用**することも利点
例：気仙沼市立図書館を活用した探究学習、発展的学習
気仙沼市民会館を活用した文化的な活動、学校行事

9

6 通学方法について

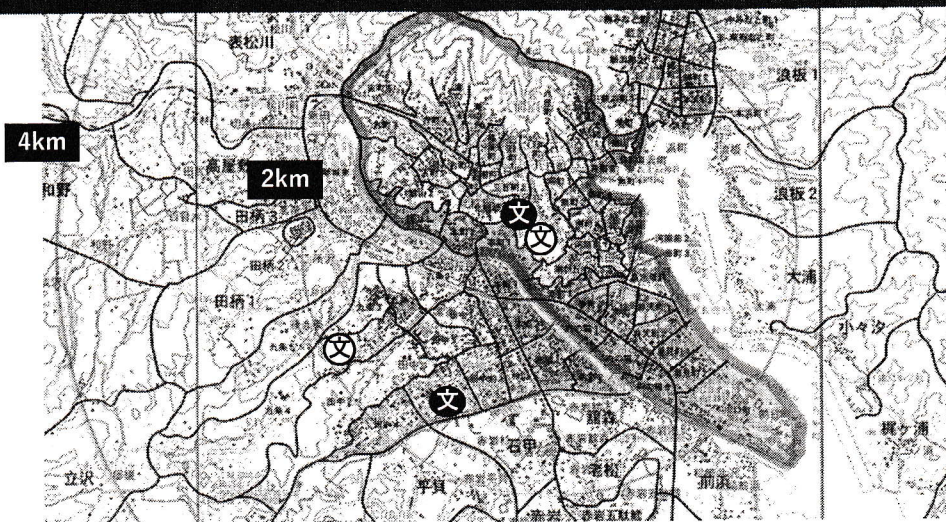
(1) 通学方法

- ① 徒歩
- ② 市の循環バスの利用（距離要件は検討中）
- ※ 自転車通学 から、生徒・保護者が選択する。
ただし、体力向上への配慮が必要

自転車通学の場合、その対象者は、ヘルメットの着用、保険への加入、学校が行う交通安全指導への参加が必須となる

10

(2) 通学距離



法令では、中学校の通学距離はおおむね6kmとなっています。一方今回の統合では、ほぼ全学区が気仙沼中の4km以内に入るものの、保護者の皆様の要望を踏まえ、循環バスの運行を検討しております。お約束した無料乗車が可能な生徒の居住範囲については、統合準備会等で御意見をお聞きしたいと思います。

(3) 現行の循環バスを利用した運行例

○ルート例（始発・最終の所要時間約26分）

※参考時間であり、詳細は今後検討

登校朝の始発

気高第2グラウンド ➡ 九条小前 ➡ 気高前 ➡ 不動の沢 ➡ 粹活街西口
 (7:30発) (7:31) (7:32) (7:34) (7:41)

➡ 条南中前 ➡ 粹活街東口 ➡ 南郷住宅入口 ➡ 内の脇※ ———→ 気仙沼中
 (7:42) (7:43) (7:45) (7:46) 徒歩約10分 (7:56)

※ (内の脇 ➡ 南気仙沼駅 ➡ 幸町 ➡ 市民会館)
 (7:48) (7:50) (7:53)

※アンダーラインのバス停の新設を検討

※体力向上を考慮し、内の脇バス停からは徒歩を推奨。市民会館バス停も検討可。

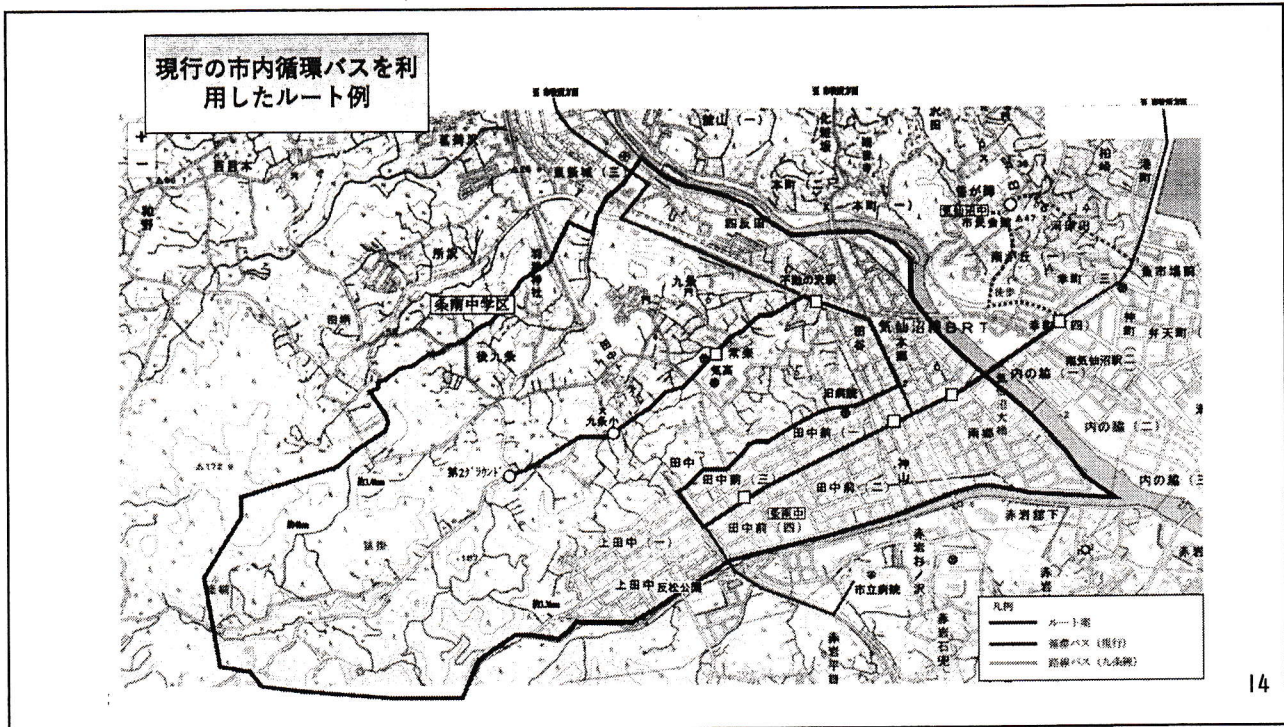
12

下校 夕の最終便のみ市民会館始発・終点が気高第2グラウンド

市民会館 ➡ 幸町 ➡ 南気仙沼駅 ➡ 内の脇 ➡ 南郷住宅入口 ➡ 粹活街東口
 ※ 気中～徒歩約10分 (14:02) (14:03) (14:05)
 ※ 気中～徒歩約10分 (16:17) (16:18) (16:20)
 最終便 (18:00) (18:03) (18:05) (18:07) (18:08) (18:10)

➡ 条南中前 ➡ 粹活街西口 ➡ 不動の沢 ➡ 気高前 ➡ 九条小前 ➡ 気高第2グラウンド
 (14:06) (14:07) 市立病院へ
 (16:21) (16:22) 市立病院へ
 最終便 (18:11) (18:12) (18:19) (18:21) (18:22) (18:23)

13

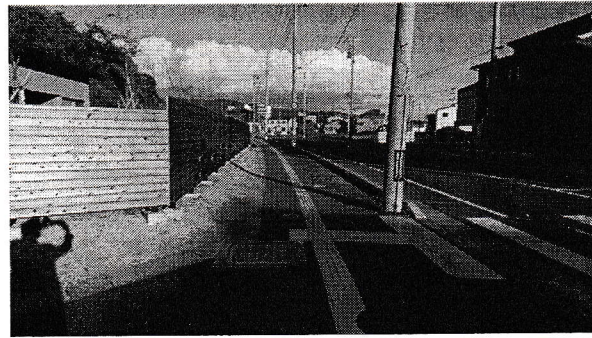
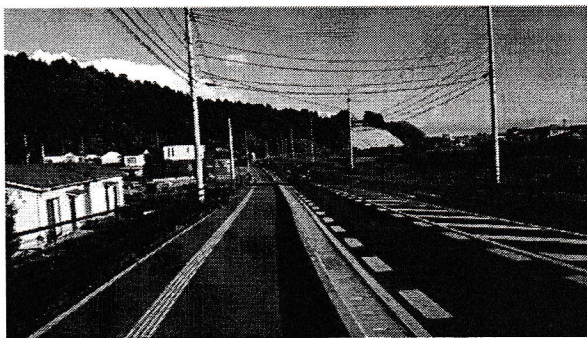


7 通学路の安全について

(1) 市道本町川口町線 (大川沿い)

- 歩道も広く整備され、防犯灯も数十mおきに設置されている
- 気仙沼小・気仙沼中の通学路として、児童・生徒が登下校で利用
- 数分で観音寺や気仙沼中学校などの津波浸水域外へ避難可能

※ 県発表「津波浸水想定」では大川河口に第一波(+1m)が到達するのは30分後



(2) 市道川の上線 (通称：ざわざわ)

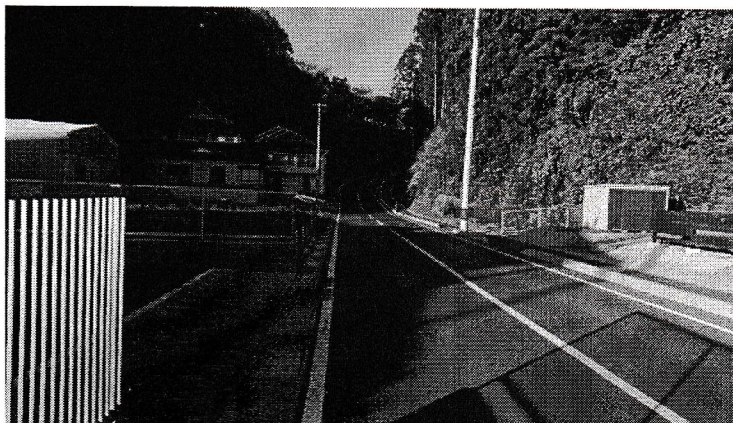
- 気仙沼小・気仙沼中の通学路として、児童・生徒が登下校で利用
- 防犯灯が6基設置済→階段付近が若干暗いため、土木課と1基増設を検討
- 冬季間、車両通行止め
- 徒歩3分弱で登りきる事が可能
→ 入口から直ちに津波浸水域外へ避難可能



16

(3) 市道幸町南が丘線 (内の脇保育所脇)

- 気仙沼小・気仙沼中の通学路として、児童・生徒が登下校で利用
- 歩道が広く整備済
- 徒歩5分程度で登りきる事が可能
→ 入口交差点から直ちに津波浸水域外へ避難可能



17

8 気仙沼中学校の校舎

- 令和4年度以降，いつ統合しても**東校舎**（S60年度建築）で**教室数は確保**できる ※条南中校舎（S52年度建築）
- 体育館（S33年度建築）は，市内小中学校で最も古い建物ではあるが，構造上一番頑丈なRC建築で，**耐震基準も満たしている**
※条南中体育館（S54年度建築）鉄骨造り
- 条南中との統合が決まれば，直ちに**体育館新築**の検討に入っていきたい
- 現在利用していない西校舎については，体育館の新築等の計画に合わせて，解体も想定する